

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和4(2022)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の概要	<p>1 事業概要</p> <p>(1)スポーツ文化の普及・振興事業 (2)スポーツ指導者の養成・確保に関する事業 (3)スポーツ団体の育成・指導 (4)競技力の向上に関する事業 (5)受託したスポーツ振興事業の実施 (6)スポーツ施設等の管理運営 (7)その他目的を達成するために必要な事業</p> <p>2 設立目的</p> <p>市民のスポーツ文化の普及・振興・競技スポーツの強化及びスポーツに関する指導者・組織の育成を図ることにより、川崎市のスポーツ振興の核づくりに努め、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とします。</p> <p>3 法人のミッション</p> <p>超高齢化社会の到来や人口減少、地域コミュニティの希薄化など市民の暮らしを取り巻く環境も変化しており、スポーツへのニーズや求められる役割が多様化しています。 スポーツを市民一人ひとりの生活に根付いた文化にするとともに、スポーツの力で市民生活の充実を図るため、川崎市との連携を強化し、両輪となって、時代の流れに対応したスポーツ施策の推進を展開します。</p>		
本市施策における法人の役割	<p>川崎市では、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境を整備し、健康増進やコミュニティの形成を図るため、生涯スポーツの推進に力を入れています。また、競技力の向上を目指し、全国・世界レベルに通用する選手や指導者の育成を図るとともに、ホームタウンスポーツ活動を振興し、スポーツを通して市民に川崎への愛着と誇り、連帯感を育むことを行っています。</p> <p>川崎市スポーツ協会においては、次の項目を法人の役割とします。</p> <p>①子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に裾野を広げ、数多くの種目のスポーツ教室を開催して、スポーツ体験機会の拡大を図る。 ②多様化するスポーツの中で市民のニーズを的確に捉え、競技人口の多少にかかわらず専門性を発揮しながら、生涯スポーツ・競技スポーツ・ホームタウンスポーツの振興を図る。 ③スポーツを市民一人ひとりの生活に根付いた文化にすることを目的とし、市民スポーツ文化の普及・振興、指導者や組織の育成、競技力向上に関する事業を実施し、41の加盟団体を統括して、市と加盟団体をつなぐ役割を果たすとともに、市のスポーツ施策の中核を担う。 ④新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受けている各種スポーツ大会やイベント等に対して、感染防止対策物品の配布や加盟団体との事前協議を行い、市民に安全・安心して参加してもらうための環境を整備する。</p>		
法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策	施策
		政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する	施策4-8-1 スポーツのまちづくりの推進
	関連する市の分野別計画	「川崎市スポーツ推進計画【R4～R13】」	
現状と課題	<p>(1)現状</p> <p>当協会は川崎市と共に「スポーツのまちづくりの推進」を進めることが重要と考えています。平成18年度から受託していたスポーツ施設の指定管理が平成28年度に全てなくなるといった厳しい状況になり、29年度以降、人員配置の見直しや事業の見直しなど抜本的な改革を行ってきました。令和元年度に41事業あった事業を、廃止5事業、予算を伴わない共催事業への転換5事業と整理し、31事業に縮小するとともに、業務の効率化、支出の削減、指定管理施設の受託など財源の拡充を図りました。令和2年度から、市のスポーツ施策に合致した事業について、市からの補助金が増額され、財政基盤安定化の端緒についたところと見られます。</p> <p>また、運営組織体制として従来は定期的な経営会議を実施しては来ていたが、令和元年度からは定期的な経営会議(役員会)を実施し、財政状況をはじめ協会のもつ課題について共通理解を図っています。</p> <p>更に、市と協会の役割分担の見直しを図り、「スポーツ協会取組方針」を作成し、その役割と方向性を確認したところと見られます。</p> <p>(2)課題</p> <p>財政状況について、補助金の増加や新たな指定管理の確保など一定の改善がみられるものの、未だ赤字になっていない状況にあり、今後さらに経営改善の必要があります。</p> <p>また、かわさきパラムーブメントに見られるような障害者理解を促進し、共生社会の実現についての取組がまだ十分でない部分もあると考えています。</p> <p>川崎市のスポーツの中核としての役割を果たすため、川崎市や加盟団体、総合型地域スポーツクラブと連携した取り組みを進めてきましたが、連携についてまだ不十分と考えており、更なる取組が求められています。</p>		
取組の方向性	<p>(1)経営改善項目</p> <p>1. 財政基盤の安定化を第一に考えるとともに、市と同じ方向性でスポーツ振興を進めることが肝要であると考え、市との定期的なミーティングを月1回開催するとともに、取組方針の職員への徹底を図るため、事務局会議を月1回開催します。</p> <p>2. 安定的な経営を図るため経営会議(役員会)を四半期ごとに開催し、情報の共有化を図りながら、財政の改善を進めます。</p> <p>3. 事業評価を行い、41事業あったものを31事業へと整理しましたが、引き続き各事業の執行方法など検討し、効率的な運営を図ります。</p> <p>4. 令和3年度に新たに指定管理施設の管理を構成企業として3か所獲得し計4か所となりましたが、引き続き等々力緑地や富士見公園の再編整備進捗状況を踏まえ、これら2公園のスポーツ施設管理運営に関わっていきます。</p> <p>(2)連携・活用項目 スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」</p> <p>市民がスポーツを身近に感じ、もっと楽しむことができるよう、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」機会を創出し、多くの市民がスポーツに参加するきっかけを作ります。</p> <p>1. 「する」: マラソン大会をはじめとする市民が気軽に参加できる大規模大会の開催や市民大会、スポーツ教室などを開催し、体験機会の拡充を図るとともに、生涯スポーツの推進や競技力の強化を実施します。</p> <p>2. 「みる」: 国内外のトップクラスの選手が競うトランポリン競技大会を開催するとともに、かわさきスポーツパートナーと連携し、試合日程・結果などを広報誌でお知らせするなどのサポートをします。</p> <p>3. 「ささえる」: 指導者や競技団体の育成などスポーツ指導者の育成・強化に努めるとともに、ボランティアの育成を実施します。</p> <p>4. かわさきパラムーブメントを進展させるため、年齢や国籍、障害があるなしに関わらず、多様なニーズに応じて、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、そして楽しめる機会を充実していきます。</p> <p>5. 総合型地域スポーツクラブ、区スポーツセンターなどと連携し、地域スポーツを盛り上げます。</p> <p>6. 競技団体の統括組織として、各競技団体との連携を深め、市民スポーツの振興を図っていきます。</p> <p>7. 新型コロナウイルス感染症については、当面の間、事業運営に影響を及ぼすことを十分に想定し、加盟団体や事業参加者が安全・安心にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。</p>		

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

(1) 施策推進

既存の事業については、社会的な要請や参加者の需要を調査やアンケートなどで把握し、実施方法の見直しなども含め効率的な運営を図りながら、参加料、協賛金や負担金・補助金などを活用し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会を創出し、多くの市民がスポーツに参加するきっかけを作ります。具体的には、様々なスポーツイベントの実施、ジュニア選手やトップアスリートの支援など競技力の向上事業の実施、年齢や性別、国籍、障害のあるなしに関わらず、多様なニーズに応じて、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、そして楽しめる機会を充実していきます。また、各年代に合わせた教室の実施、スポーツ指導者の育成・確保、パラスポーツの理解・普及によりスポーツを通じた共生社会の実現を進めます。さらに、指定管理施設等において、参加者ニーズを把握し、市民満足度の高い事業を実施いたします。

(2) 経営健全化

市と両輪で進めるスポーツ施策推進に合致した事業については市補助金だけでなく、市財政支出以外の自主財源など安定した収入の確保に努め、効率的な運営による支出の削減を進め、経常収支比率を向上させ安定的な黒字経営による正味財産の確保を目指します。

また、経営会議を定期的実施し経営幹部が常に情報の共有化と同じ方向性で経営が進むようにします。

(3) 業務・組織計画

職員の意識や専門性を向上させるため、スポーツ、救命救急、安全確保、組織運営などに関する研修への参加と必要な資格取得を進め、組織の活性化を図ります。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 2021)年度)	目標値 (令和4 2022)年度)	実績値 (令和4 2022)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の方 向性 (※4)
①	スポーツ振興事業	市民大会等参加者数	16,930	21,000	26,038	人	a	C	II
		スポーツ教室参加者満足度	96	84	92	%	a		
		パラスポーツ体験教室の参加者数	954	855	750	人	c		
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出 (直接事業費)	30,162 (84,181)	36,877 (104,251)	39,477 (89,338)	千円	2)	(2)	
②	競技選手強化・指導者育成事業	トップアスリート育成・強化支援関連事業の参加者数	402	440	507	人	a	A	II
		指導者育成事業の参加者数(育成数)	508	210	431	人	a		
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出 (直接事業費)	1,811 (1,917)	3,142 (3,294)	2,693 (2,855)	千円	1)	(1)	
③	施設管理運営事業	施設事業参加者数	32,500	13,380	26,004	人	a	A	II
		施設事業参加者満足度	95	92	92	%	a		
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出 (直接事業費)	42,903 (57,537)	42,483 (53,700)	42,064 (56,554)	千円	1)	(1)	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021)年度)	目標値 (令和4 2022)年度)	実績値 (令和4 2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	収益性の確保	正味財産の推移	162,920	166,173	160,725	千円	c	C	II
		経常収支比率の推移	97.8	100	98.6	%	b		
②	自立性の向上	市財政支出額を除く主要な経常収益	57,406	65,804	55,623	千円	c	D	II

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021年度)	目標値 (令和4 2022年度)	実績値 (令和4 2022年度)	単位	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	適正な業務運営・法人組織体制 の構築	定期的な運営会議等の開催数	24	24	24	回	a	A	I
②	人材育成等の研修計画	年間研修参加者数	25	16	19	人	a	A	I
		資格取得件数	12	5	8	件	a		

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】



法人及び本市による総括

【令和3(2021)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

施策推進に関する取組について、新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたこともあり、各指標において、ほぼ目標を達成することができました。特に、かわさき多摩川マラソンが4年ぶりに実施できたことは、市制100周年の記念大会に向けた弾みとなる一方で、参加人数が定員に達しないという課題も残りました。このため新たにPR動画の作成や、インフルエンサーの活用などの広報活動を積極的に行い、大会の認知度を向上させるとともに、誰でも参加できる、大会となるよう未就学児や車イスの部門を創設し、加えて等々力陸上競技場などを使用したプレイベントを開催するなど、新たな層の獲得により、参加者数の増加を図ってまいります。競技選手強化、指導者育成事業については、各競技団体への実施の働きかけなどが参加者増に繋がったため、引き続き継続してまいります。経営健全化については、好評な事業の拡大や、スポーツ協会の強みを生かしたスポーツの日の事業の受託など新たな事業を検討いたします。引き続き市と定例会を継続し、スポーツ施策の情報を共有しながら、子どもからお年寄りまで障害のあるなしに関わらず市民がスポーツを楽しめるようスポーツ振興に取り組めます。

【令和4(2022)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

本市施策推進に向けた事業取組について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていた多くの事業が感染対策の手法が確立され再開できたことにより、市民大会や体験教室の参加者が増加したことや、市民ニーズに沿った内容の教室を提供するために、アンケート調査を実施するなど積極的に情報収集に努めており、ポストコロナを本格的に迎える来年度以降のスポーツ推進に期待を抱かせるものです。また、かわさき多摩川マラソンについても、長引く自粛生活の影響で競技離れなどから、参加者数は定員に届きませんでした。プレイベントとしてゆるスポーツ体験や走り方教室を開催し、大会当日にも未就学児向けのランニングイベントを開催するなどして、誰もがスポーツをできる機会を創出したことは評価できるものです。

一方で経営健全化に向けた取組については、その他の事業は予定通り実施できたにもかかわらず、大きな収益を見込んでいた多摩川マラソンで参加者数が減少したことにより、目標値を下回ったことは大きな課題であると考えます。加えて等々力アリーナでの受託事業も来年度以降縮小される予定であり、引き続き赤字事業の縮小・廃止に取り組むとともに、収益が見込める新規事業の開発や既存事業においてニーズ把握に努め、適宜改善を行い満足度を高いレベルで維持し、参加料の値上げを検討するなど収支改善により一層取り組むことを切に望みます。

業務組織に関する取組については、全ての項目で目標を達成していますが、毎月一回の市民スポーツ室との定例会を継続実施し、事業の進捗状況の共有や課題解決に向けた方策の検討など情報共有を徹底するとともに、組織内部の改革や人材育成、法令遵守、コスト意識を持った業務改善に着手に取り組む必要があると考えます。

今後については、ポストコロナの時代において、心身の健康を保つために日頃から運動をする機会の重要性が再認識され、スポーツへの興味・関心が高まっているとともに、デジタル化の加速が目まぐるしく社会情勢も日々変化しており、市民からのニーズも多様化する中でスポーツに求められる役割を再確認し、時勢にあわせたスポーツ普及・振興活動の推進を期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和4(2022)年度)

事業名	スポーツ振興事業
計画(Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度現在の市民大会数は54大会となっています。 多種多様な事業を実施する上で、市民のニーズにあったスポーツ教室の開催や参加者の増加ができるようアンケート調査を行いながら事業内容の工夫を行っています。 市内の小中学校の児童・生徒を対象に、パラスポーツの体験教室を実施しています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 各加盟団体に市民大会の意義の周知や、各競技の魅力を伝えていくことでスポーツを実施し大会に参加する市民を増やします。 スポーツ協会が各加盟団体や市と連携して実施する教室について、市民のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、次期開催時の教室に反映します。 体験教室の参加者を増やし、パラスポーツの普及・啓発を図ります。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 加盟団体の代表者並びに事務担当者に対し、加盟団体連絡会議や通知文等にて市民大会の意義を周知し、市民が広く参加できる大会運営を働きかけます。 これまでの実績だけでなく、参加者へのアンケートに基づく市民のニーズに合わせたスポーツ教室を開催します。 障害者スポーツについて、広く市民に理解を深めるための体験会等を実施し、普及振興を図ります。 新型コロナウイルスの市内外感染状況を注視するとともに、国や関係機関が定めるガイドラインを踏まえた感染防止対策を行い、市民が安心かつ安全に参加できる環境を整え、市民大会、障害者スポーツ教室、その他各種スポーツ教室を実施してまいります。また、感染状況により、必要に応じてオンライン配信等への切り替えを検討いたします。 コロナ禍の影響を踏まえ、参加状況を勘案しながら、教室の料金改定について引き続き検討いたします。 各加盟団体を対象にした研修会を実施します。

実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 市民スポーツの推進には市民大会を多くの市民に開かれた大会として開催することが重要であるため、各加盟団体に對して市民大会の意義を説明するとともに、開催にあたっては協会のHP等を活用し市民大会の内容の周知や参加者を募集するなど、広く市民が参加することができる大会となりました。 《令和4年度開催状況》 春季市民大会:13種目 市制記念大会:28種目(内、3種目中止) 秋季市民大会:20種目</p> <p>【指標2関連】 スポーツ協会が各加盟団体等と連携して実施する教室について、アンケート調査から得られたきめ細かい指導や定員を増やすといった市民ニーズに沿った教室を開催したことにより、高い満足度が得られました。 《事業満足度》 スケート教室:88% 古市場小教室:92% なぎなた教室:100% スキー&スノーボード教室:92%</p> <p>【指標3関連】 学校の総合的な福祉の時間として、児童・生徒がパラスポーツ指導者から、障害に至った原因や競技を始めた経緯等を直接聞くとともに、パラスポーツを体験することにより、競技や障害に対する理解を深めたほか、市民向けのポッチャ教室を開催するなど、パラスポーツの普及・啓発に努めました。 《令和4年度実績》 とどろきアリーナ 宮内中学校 車いすバスケ:235名 ポッチャ153名 計388名 宮前スポーツセンター 犬蔵中学校 車いすバスケ:199名、ポッチャ:98名 計297名 多摩スポーツセンター 教室参加者数 ポッチャ:35名 川崎愛児園 ポッチャ:30名</p> <p>【その他】 4年ぶりにかわさき多摩川マラソンを実施しました。募集定員:7,090名 申込数:4,776名 参加者数:4,012名</p>
----------------	---

評価(Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	市民大会等参加者数	目標値		21,000	27,000	30,150	30,150	人
	説明 各加盟団体ごとに開催する市民大会の参加者数	実績値	16,930	26,038				
2	スポーツ教室参加者満足度	目標値		84	85	86	87	%
	説明 指定管理施設以外で行うスポーツ教室参加者に対し、アンケートを行い、得られた満足度の割合	実績値	96	92				
3	パラスポーツ体験教室の参加者数	目標値		855	960	965	975	人
	説明 スポーツ協会が独自で実施しているパラスポーツ体験教室の参加者数	実績値	954	750				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	
指標3 に対する達成度	c	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・指標1に関して、新型コロナウイルス感染症対策を講じた大会運営の実施などにより開催件数が増加し、昨年度の実績を上回るとともに、平成30年度の7割まで回復し目標を達成することができました。
 ・指標2に関して、昨年度のアンケートの満足度を参考に教室回数等を増やすなど要望を取り入れたことにより、継続して高水準の評価を得ることができ、目標を達成することができました。
 ・指標3に関して、市民向けについては、これまで実施していなかった施設で新たにポッチャ体験教室を開催するなど、体験機会の拡充に努めましたが、予定していた目標に達することができませんでした。今後の参加者数増加に向けて啓発や調整に取り組んでまいります。

	達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分 C	区分選択の理由 指標1に関して、各競技団体において、新型コロナウイルスの感染対策の方法が確立してきたこともあり、ほぼ予定通り大会を開催することができ、また、市民も安心して参加できる体制が整ったことから参加者が増加し、成果指標である「市民大会等参加者数」について目標値を上回ったため。 指標2に関して、参加者からの要望を基に教室の内容や回数などを改め、現状に満足することなくブラッシュアップしたことから、水準を維持し、成果指標である「スポーツ教室参加者満足度」について目標値を上回ったため。 指標3に関して、スポーツ協会の自主事業として各学校やスポーツセンターにおいて、体験教室を開催し、生徒向けに各指導者から自身体験を伝えて頂くなど、バラスポーツ普及や障害についての啓発に努めたが、成果指標である「バラスポーツ体験教室の参加者数」について目標値を上回ることが出来なかったため。
--	---	---------------------------	--

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	36,877 (104,251)	36,902 (101,345)	36,902 (101,295)	36,902 (101,296)	千円
	説明 本市財政支出 (直接事業費)	実績値		30,162 (84,181)	39,477 (89,338)			

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

市の受託事業(喘息児童教室)の委託料の増加などにより、市財政支出が目標値の範囲を超えました。今後は、事業支出とのバランスを見ながらトランポリン大会やスキー教室等で自己収入を増やし市財政支出に依存しないよう努めます。

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分 (2)	区分選択の理由 行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、目標値の110%未満であり、本市政策推進に関する指標1・2の目標値を上回るとともに、感染症対策を行いながら大会や教室を実施し、市民が多く参加できたことにより、スポーツ振興に寄与したため。
--	--	-----------------------------	---

改善(Action)

	方向性区分	方向性の具体的内容
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 新型コロナウイルスの影響が落ち着きはじめたことから、市民大会やスポーツ教室等の参加者数を更に増やすとともに、アンケートを実施しニーズを的確に把握し満足度の高い教室を実施します。バラスポーツの体験教室については、新しく教室を実施できるように市内の各学校等と調整を進めます。かわさき多摩川マラソンについては、PRコマース等を活用し参加者の増加を図るとともに、誰もが参加できる大会に向け、未就学児や車椅子の部門を新設します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和4(2022)年度)	
事業名	競技選手強化・指導者育成事業
計画(Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に川崎市出身の選手が各種世界大会等で活躍できるようなトップアスリートの人材育成を行います。 ・国体や全国大会に川崎市出身の選手が出場できるような選手強化を行います。 ・川崎市内にスポーツを普及・振興できるよう、選手や指導者の人材育成を行います。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体が実施するトップアスリート育成・強化支援事業及びスポーツ普及や指導者育成事業に対して、年間を通して支援を行っていきます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体が実施する選手強化・育成等の事業に対して、市の負担金を活用して、助成金による支援を行い、加盟団体連絡会や研修会を実施することで競技力の向上を図ります。 ・加盟団体が実施する指導者育成事業に対しても、助成金による支援を行い、加盟団体連絡会や研修会を実施することで市内のスポーツ普及・振興に繋げてまいります。 ・新型コロナウイルスの影響の市内外感染状況を注視するとともに、国や関係機関が定めるガイドラインを踏まえた感染拡大防止対策を行い、スポーツの普及・振興を図るために、実施内容や手法の検証等を随時行っていきます。


実施結果(Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 国や県の強化指定選手等の指定を目指すトップアスリート育成や全国レベルの選手の競技力向上及びチームの強化を目的とする選手強化支援事業を10団体が実施し、507名が参加しました。 内訳 トップアスリート:体操 13人、選手強化:クレー射撃 19人、体操 100人、テニス 94人、ソフトテニス 30人、ソフトボール 58人、卓球 37人、サッカー 93人、スキー37人、バスケットボール26人</p> <p>【指標2関連】 指導方法・審判を行う上での知識など指導者に必要な講習、初心者に対する基礎的なルールの指導方法など5団体が指導者育成事業を実施し、431名が参加しました。 内訳 サッカー 20人、剣道 36人、野球 185人、ゲートボール 168人、バスケットボール 22人</p> <p>【その他】 今後のスポーツ指導の参考となるよう、大学教授を講師に招きデータに基づく分かり易い内容で、各加盟団体の指導者等を対象とした研修会を実施しました。</p>

評価(Check)							
本市施策推進に関する指標	目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1 トップアスリート育成・強化支援関連事業の参加者数	目標値	/	440	570	630	650	人
	説明 トップアスリート育成や選手強化事業の参加者数		実績値 402	507			
2 指導者育成事業の参加者数(育成数)	目標値	/	210	415 215	420 220	425 225	人
	説明 指導者育成事業の参加者数		実績値 508	431			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)


・指標1に関して、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各競技団体が積極的に事業を実施したため、昨年度の実績を上回るとともに、平成29年度から令和元年度の平均値(630人)の8割まで回復し、目標を上回ることができました。
 ・指標2に関して、加盟団体連絡会等を通して各競技団体に、スポーツ普及に不可欠な指導者育成の実施を働きかけたことで、各競技団体が新型コロナウイルス感染症対策を講じつつも、積極的に事業を実施したため目標値を大幅に上回りました。
 ・その他指導者研修会については、大学教授による専門的な講義は指導力向上につながることから、継続して実施いたします。

 本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	3,142 (3,294)	3,117 (3,279)	3,117 (3,279)	3,117 (3,279)	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		1,811 (1,917)	2,693 (2,855)			
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

経費を抑えつつ事業を実施し、行政サービスコストは目標値の範囲内となりました。実施した各事業では規模の大きい講習会等を開催したことで、昨年度より参加人数は増加しています。今後も目標値を達成するため、適切な経費の支出に務めるとともに、事業参加者人数の増加を図るなど効果的な事業実施に努めます。

 本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1)

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和4(2022)年度)

事業名	施設管理運営事業
計画 (Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 市内施設(とどろきアリーナ、宮前・多摩スポーツセンター、青少年の家)の管理運営を行っています。 各施設にてアンケート調査を行いニーズの把握を行います。 宮前・多摩スポーツセンター及び青少年の家の指定管理期間は、令和3年4月1日から令和8年3月31日、とどろきアリーナは、令和2年4月1日から令和5年3月31日までとなっており、延長されない場合は目標値の変更が生じることとなります。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに沿った施設管理運営を行いながら、アンケート結果をもとに、利用満足度を向上させ、事業参加者の増加を図ります。 参加者からレベルアップした教室の要望があったことから、参加者の能力を踏まえたレベルアップ教室を検討します。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 等々力緑地・富士見公園再編整備に関する施設管理運営事業の新規参入に向けて、施設管理の状況について情報を収集するとともに、民間企業とパートナー関係構築に向けた意見交換を行います。 協会としての強みを生かせるようなパラスポーツや高齢者スポーツなどの企画提案を行い、施設管理者等と連携しながら、スポーツ事業を推進し、事業参加者の増加を目指します。 アンケートや利用者ニーズをもとに教室の充実を図り、パラスポーツなど引き続きニーズのある事業を実施することにより、事業参加者の満足度向上を目指していきます。 子どものダンス教室について参加者のレベルアップに対応した教室を実施します。 新型コロナウイルス感染拡大防止の市内外の感染状況を注視するとともに、国や関係機関が定めるガイドラインを踏まえた感染予防対策を行いながら管理運営を行っています。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 協会としての強みを生かせるようなパラスポーツや高齢者スポーツ教室、幼児から大人まであらゆる世代を対象にした教室を実施しました。 《令和4年度実績》 とどろきアリーナ 2,992名 宮前スポーツセンター 21,998名 多摩スポーツセンター 35名 青少年の家 979名</p> <p>【指標2関連】 子どものダンス教室の参加者から指導内容のレベルを上げる要望があったことから、レベルアップに向けた対応などを図るなど、ニーズに対して柔軟に対応したことにより、高い満足度が得られました。</p> <p>【その他】 等々力緑地再編整備に伴い新たな指定管理者と協議を行い、講師派遣や教室運営を実施することになりました。</p>
-----------------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	施設事業参加者数	目標値	/	13,380	38,100 23,200	40,900 32,800	43,710	人
	説明 管理運営をしている施設でスポーツ協会が実施する事業への参加者数	実績値		32,500	26,004			
2	施設事業参加者満足度	目標値	/	92	92	93	93	%
	説明 管理運営をしている施設でスポーツ協会が実施する事業への参加者に対し、アンケートを行い、得られた満足度の割合	実績値		95	92			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・指標1に関して、パラスポーツや高齢者、子ども向けの教室等スポーツ協会ならではのノウハウや経験を活かした教室を開催しました。宮前スポーツセンターの工事(令和4年7月～12月の6か月間)期間がありましたが研修室を活用して実施可能な教室を開催するなど、工夫したことにより、目標を上回ることができました。
 ・指標2に関して、昨年度のアンケートの満足度を参考に、市民ニーズに合致した教室を開催するなど改善を行い、継続して高い満足度を得ることができ、目標を上回ることができました。

	達成状況	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	区分選択の理由 指標1に関して、成果指標である「施設事業参加者数」について目標値を上回ったため。 指標2に関して、成果指標である「施設事業参加者満足度」について目標値を上回ったため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	42,483 (53,700)	30,291 (44,850)	30,042 (44,851)	29,793 (44,799)	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値		42,903 (57,537)	42,064 (56,554)			

行政サービスコスト に対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市財政支出について、効率的な施設運営等及び適切な財政支出に努め、目標値の範囲内となりました。

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	区分 (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1)	区分選択の理由 行政サービスコストの範囲内で、本市政策推進に関する指標1、指標2について目標値を上回るとともに、スポーツ協会のノウハウを活かしたパラスポーツや高齢者向けの教室を開催するなど、誰もがスポーツに楽しめるまちづくりに寄与したため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和4(2022)年度)

項目名	収益性の確保
計画(Plan)	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 事業毎の管理を行うことにより、赤字事業の縮小・廃止に随時取り組みながら、経費削減・収入の確保をし、効率の良い事業運営を行う必要があります。 財務の安定性の確保を目的に、正味財産の推移を把握しています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、黒字となる自主事業等の継続・拡大とともに、赤字事業の縮小・廃止にも取り組みます。また、効率の良い事業運営を行いながら経営基盤を強化し、健全かつ安定的な事業運営に努めます。 収益率を改善し、正味財産増減額の推移とともに経営改善の指標としながら事業運営に努めます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 事業ごとに予算管理・執行中の経費管理等を行い、経費削減並びに収入の増加が図られるよう随時事業管理を行い、正味財産の増加及び経常収支比率の改善に努めます。 多摩川マラソンなど収益性のある事業の拡充並びに新規事業の企画を図っていきます。 等々力緑地再編整備・富士見公園再編整備に向けて、新たな管理者との連携による事業参入を検討します。 新たな新規事業(スキー&スノーボード教室)を実施し、一部の事業の値上げ(スケート&アイスホッケー体験)を検討いたします。

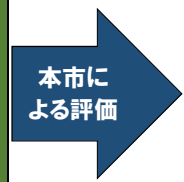
実施結果(Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 事業計画で予定していた事業は、おおよそ実施することができ、また、新たな新規事業(スキー&スノーボード教室)を実施し、一部の事業の料金を適正な価格とする(スケート&アイスホッケー体験)など収益の確保に努めました。一方で収益を見込んでいたかわさき多摩川マラソンの申込人数が定員の約7割に留まったことから収益の増とはなりませんでした。</p> <p>【指標2関連】 指標1関連と同様</p>
	<p>【その他】 事業ごとに予算・経費管理等を行い、経費削減や収入増を図りながら事業を行い、正味財産の増加並びに収支比率の改善に努めました。また、新規事業(スキー&スノーボード教室)について参加者や応募者からのニーズが多いことから当初の想定より年間の回数を増やし、収入の増加並びに収支比率の改善に努めました。</p> <p>等々力緑地再編整備計画に伴い新たな指定管理者と協議を行い、次年度の教室を継続して開催できることとなりました。</p>

評価(Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	正味財産の推移	目標値		166,173	166,273	166,423	166,623	千円
	説明 出捐者から受け入れた指定正味財産額、本業から得られた過年度経常収支差額の合計額	実績値	162,920	160,725				
2	経常収支比率の推移	目標値		100	100	100	100	%
	説明 事業活動の結果である経常収益と、それに費やした経常費用の割合	実績値	97.8	98.6				

指標1 に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	b	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)		
スキー&スノーボード教室など新規事業を実施するとともに、既存の事業についてもおおよその予定通り実施することができましたが、かわさき多摩川マラソンの参加者数が想定より少なかった事や施設管理をしている青少年の家の光熱水費高騰による管理費用の増加などの要因により、収支は赤字となり正味財産は減少し経常収支比率も目標値よりも下回りました。		

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II かわさき多摩川マラソンについて参加者数を増やすためPR動画を作成しアゼリアビジョン等で放映するなど、効果的にPRを行い、参加料収入の増加に努め、収支の改善を図ります。また、富士見公園の管理委託終了に伴い減収となることから、引き続き指定管理者と協議を継続し新たな管理業務や新規事業の検討を進めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

経営健全化に向けた取組②(令和4(2022)年度)	
項目名	自立性の向上
計画(Plan)	
現状	指定管理料を除く管理運営収益及び事業参加料収益等の自主事業を拡充し、市財政支出額を除いた主要な経常収益を確保し自立性の向上を図ります。また、賛助会費や協賛金その他の新たな収入の確保の取組を進めて、市財政支出の依存度を低減し、自立的な事業運営を行う必要があります。
行動計画	市民のニーズを把握しながら、指定管理料を除いた、事業参加料収益の増加や管理運営収益の拡充を行い、市財政支出額を除く主要な経常収益の確保を図ります。また協賛金収入の確保や新規事業への模索を行いながら健全な事業運営に努めます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和2・3年度中止を余儀なくされた事業について、コロナ禍の回復により開催できる状況もありますので、事業参加者数の回復による参加料収入の増加に取り組めます。 他の事業者の参加料の比較及び費用対効果を踏まえることにより、参加料収入等を拡充し、新規の寄付・協賛金の確保並びに新たな事業の模索を行いながら、主要な経常収益の増加を図り自主性を高めます。 事業ごとに収入の確保並びに経費削減を図り、随時事業管理を行います。

実施結果(Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 かわさき多摩川マラソン実施に伴う協賛企業の開拓を行い、新たに2社から協力(計300,000円)を得ることができました。新規事業については、加盟団体と連携したスケート&アイスホッケー体験が好評であることから、ウィンタースポーツにさらに触れられるよう民間企業と連携し新たにスキー&スノーボードの教室を実施し、収益向上に取り組めました。</p> <p>【その他】 やってみるキャラバンやパラスポーツ普及では、ポッチャの指導を指導員資格を持っている職員が行うことにより、外部委託することなく経費削減が行えました。またマラソン大会での数量の多い物品注文について安価な業者の発掘を行うなど、経費削減に努めました。</p>

評価(Check)								
経営健全化に関する指標	目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
1	市財政支出額を除く主要な経常収益	目標値		65,804	66,426	66,875	67,324	千円
	説明 主要な経常収益である管理運営収益及び事業参加料収益から指定管理料を控除した額	実績値	57,406	55,623				
指標1に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
スキー教室などの新規事業の実施や協賛企業の新規獲得、事業実施に係る経費削減など経常収益の改善に努めましたが、かわさき多摩川マラソンについて、申込人数が募集定員の約7割に留まり想定より参加料収入が伸びなかったことなどから目標値を達成することができませんでした。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D 新規協賛企業の開拓や収益性が高い新規事業の実施などの取組を進めたものの、成果指標である「市財政支出額を除く主要な経常収益」について、55,623千円となり目標値の65,804千円を下回ったため。

改善(Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	事業について回復傾向にあり、コロナの影響も落ち着いてきていることから、かわさき多摩川マラソンについて協賛企業の協力等を更に得られるよう、誰もが参加できる大会に向けた車イス部門の創設などインクルーシブな大会としてPRを行います。好評なスキー・スノーボードの教室などの事業を拡充し、引き続き新たな新規事業の取組を進めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和4(2022)年度)

項目名	適正な業務運営・法人組織体制の構築
計画(Plan)	
現状	公益法人として、組織等の整備を随時進め、適正な公益法人としての活動を行っています。また、コンプライアンスについて、随時役員・職員を集め研修を行っています。
行動計画	今後も定期的に経営会議を開催し、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定及び評価を行い改善していきます。また、随時役員・職員等を対象にコンプライアンスについて研修を行い健全な組織構築を行います。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経営会議・役員会等を適時開催し、協会全体の経営計画並びに現状の把握を行い改善していきます。 ・事務局会議(12回)や市民スポーツ室との定例会(12回)を開催し、事業の進捗状況を確認するとともに、情報を共有することで適正な業務運営を行います。事業進捗を共有することで、事業執行における協力体制を確立しています。 ・全職員でコンプライアンスについての研修を実施するほか、協会役員や加盟団体責任者に対して役員会や加盟団体連絡会を活用し、共通理解を深め、コンプライアンス遵守を徹底します。 ・適正な協会運営を進めるために、コンプライアンス研修を行うほか、職員間のチェック機能を強化するための取組を進めます。

実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>役員会を4回開催し、財務状況や事業進捗などを把握し、今後のスポーツ協会の方向性を協議しました。事務局会議を、各担当の事業進捗などを確認し、かわさき多摩川マラソンやトランポリンジャパンオープンなどの大規模な事業を取り組むにあたっての協力体制などを確認しました。市民スポーツ室との定例会を12回開催し、事業の進捗確認や情報共有を図るとともに、適正な業務運営に向けた協議・検討を行いました。市からの不祥事防止の資料を参考にコンプライアンス研修を実施しました。</p>
---------------	--

評価(Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	定期的な運営会議等の開催数	目標値		24	24	24	24	回
	説明 公益財団法人としての組織整備並びに健全な組織の構築に向けた重要な指標 ※R4~7年度の個別設定値:23(現状値の95%)	実績値	24	24				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上~目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上~現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
事務局会議、市民スポーツ室との定例会をそれぞれ毎月(12回)開催し、目標値を達成しました。今後も引き続き、健全な公益財団法人としての活動ができるよう効果的に会議、研修等を開催していきます。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 成果指標である「定期的な運営会議等の開催数」について、目標値以上となっており、また、これとは別に多摩川マラソンに特化した定例会を月1回以上開催するなど、市との情報共有を密にし、適正な業務運営に取り組んでいるため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I 役員会は、民間人やNPO法人の代表が就任しており、多様な視点を取り入れ事業等の検討を行います。事務局会議について継続して実施し、課題等を整理しながら事業を進めていきます。定例会については、事業進捗の確認はもとより特に財務状況の改善に向けた協議を行っており、継続して実施していきます。コンプライアンス研修については、ハラスメント防止をテーマに研修を進めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

業務・組織に関する取組②(令和4(2022)年度)	
項目名	人材育成等の研修計画
計画(Plan)	
現状	公益に資する活動をしているか、公益目的事業を行う能力・体制があるかなど、公益法人が満たさなければならない基準が厳格化されており、経理的基礎・技術的能力が必要となっています。労務・経理やその他事業に関連する研修や資格の取得を随時行います。
行動計画	職員の資質向上のため、意識改革と知識の習得・技術の向上を図る研修会等への参加による人材育成を行います。また、労務・経理等の法人にかかわる研修やその他事業に関連する研修・資格の取得を随時行っていきます。
具体的な取組内容	公益法人としての確に運営する知識、スポーツ施策の的確な助言・指導を担う人材の育成、スポーツの専門性を高めること及び経理的知識の向上等を図るため、オンラインも活用しながら研修や研究会に参加するとともに、資格の取得を図ります。

実施結果(Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】 小児救命講習 7人、赤十字社救命法 5人、公益法人運営 1人、他都市のスポーツコミッションの取組 2人、中長期計画の策定 2人、労働契約 1人、インボイス制度関係 1人などの研修にZoomも活用しながら積極的に受講しました。</p> <p>【指標2関連】 スポーツ指導員関係、市民救命士、赤十字社が実施する救命法などの資格を新たに8件取得しました。</p>

評価(Check)								
業務・組織に関する指標	目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
1	年間研修参加者数	目標値		16	17	18	28	人
	説明 資質の向上等を図るための研修会参加者数	実績値	25	19				
2	資格取得件数	目標値		5	5	5	14	件
	説明 資質の向上等を図るための資格取得数	実績値	12	8				
指標1に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
指標2に対する達成度	a							
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
研修に関しては経営に生かせるよう、公益法人の経営や新たに始まるインボイス制度に関する知識などの習得に努めるとともに、他都市の先進的取組事例の習得や、救急救命関係の講習を受講しました。資格に関してはスポーツ教室の実施にあたり必要な基本的な知識を習得し、関連する資格の取得に努めました。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善(Action)			
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容	
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I	職員のスキルアップは、スポーツ協会の事業を進める上で不可欠であり、引き続きスポーツ関係の知識や資格の習得を推進します。また、インボイス制度が導入されますので、経理業務等の更なる知識の向上を図り、適切な業務執行を行います。また、指標2については、職員の資質向上に資する資格を研究し、計画的な資格習得に努めます。

法人(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
---------	-----------------	-----	--------------

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	147,241	153,698			
	経常費用(事業費)	136,305	140,883			
	経常費用(管理費)	14,178	14,860			
	うち減価償却費	864	1,032			
	当期経常増減額	△3,241	△2,045	0	0	0
	経常外収益	0	0			
	経常外費用	0	150			
	税引前当期一般正味財産増減額	△3,241	△2,195	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△3,241	△2,195			
(指定正味財産増減の部)						
当期指定正味財産増減額	0	0				
正味財産期末残高	162,920	160,725				
貸借対照表	総資産	186,357	175,296	0	0	0
	流動資産	25,027	22,209			
	固定資産	161,330	153,087			
	総負債	23,437	14,571	0	0	0
	流動負債	22,075	11,411			
	固定負債	1,362	3,159			
	正味財産	162,920	160,725	0	0	0
	指定正味財産	109,850	109,850			
一般正味財産	53,070	50,875				

主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	管理運営収益+事業参加料収益	88,539	85,917			
経常費用	委託費(事業費+管理費)	42,402	42,162			
総資産	特定資産	49,032	39,032			
総負債	有利子負債(借入金+社債等)	2,149	4,055			

本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		15,194	14,322			
負担金		12,628	20,924			
委託料		21,621	22,196			
指定管理料		31,133	30,295			
貸付金(年度末残高)		0	0			
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)		0	0			
出捐金(年度末状況)		45,000	45,000			
(市出捐率)		40.9%	40.9%			

財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		113.4%	194.6%			
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)		1.3%	2.5%			
経常収支比率(経常収益/経常費用)		97.8%	98.6%			
正味財産比率(正味財産/総資産)		87.4%	91.7%			
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用)		53.5%	56.3%			
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益)		54.7%	57.1%			

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>とどろきアリーナ・富士見公園運動施設について、事務局職員の業務体制により、人件費の支出を抑えるとともに、宮前・多摩スポーツセンターや青少年の家の指定管理者の構成団体として、利用者満足度の高いスポーツ教室の実施など収益増に取り組み、経常収益は昨年度より約645万円の収益増に繋がりました。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響が落ち着いて、概ね事業計画どおり実施することができましたが、かわさき多摩川マラソンの参加者が定員を下回ったことなどから、十分な収益を確保できず当期経常増減額は昨年度に続き、赤字決算となりましたが、赤字幅は昨年度より119万円の減少となりました。</p>	<p>とどろきアリーナ指定管理・富士見公園運動施設管理に代わる、新たな収益を確保するため、スポーツフェスタ事業など市の受託事業の獲得に引き続き取り組みます。各種教室事業について、満足度を高め参加者を増加させるとともに、かわさき多摩川マラソンのPR等を強化し、参加者の増加に取り組み収益増を図ります。</p> <p>また、今後につきましては、各スポーツセンターなど施設の指定管理事業やスポーツ関係委託事業への参画に向け、関係する企業や団体などと情報共有をしつつ、新たな事業を受託できるよう準備を進めてまいります。これらの取組により黒字化への転換を図ってまいります。</p>	<p>経営状況を立て直すため、引き続き、経常費用を縮減するための自主努力を徹底するとともに、組織内部の改革や人材育成、法令順守・コスト意識の徹底にも着実に取り組んでいく必要があります。また、協会の強みを生かした企画提案で新たなスポーツ施設の管理運営獲得に取り組むとともに、今後のスポーツ施策推進と経営健全化に向けた更なる取組に期待します。さらに、市との情報共有の取組を継続し、市民のスポーツへの興味・関心の高まりに合わせて、多様化する市民ニーズを的確に捉えたスポーツ活動の普及・振興への取組を期待します。</p>

(2)役員・職員の状況(令和5年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	1	11	0	1
職員	4	0	0	7	0	4

【備考】

- 総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
- ・理由
- ・今後の方向性